

各地域の老人クラブが一堂に会し「芸能発表会」を開催



10月26日、芦別市老人クラブ連合会の主催により、各地域の老人クラブで活動する高齢者が一堂に会した「芦別市老人福祉・芸能発表大会」が、市民会館で開催されました。

当日は、各地域から約70人の方がグループや個人ごとに出演し、舞踊やカラオケ、ダンスなど日ごろの趣味活動の成果を披露。

ステージでは23の演目にわたって、息の合った踊りや力のこもった歌唱が次々と繰り広げられ、そのたびに観客席から温かい拍手と声援が沸き起こっていました。

また全てのプログラムが終了した後には、お楽しみ抽選会も行われるなど、会場は最後まで活気のある雰囲気になっていました。

「お灸フェス」開催 体験型イベントでお灸のススメ

10月27日、青年センターで「お灸フェス」が行われました。

これは、鍼灸医学をともし国民の健康と福祉の向上を目的とした公益社団法人北海道鍼灸師会空知ブロックの主催により開催されたイベントで、当日は約70人の方が参加。

市内及び空知管内の鍼灸師が講師

となり、お灸に関する基礎知識やセルフお灸の基本ルールなど、「自分で出来る簡単お灸講座」として、さまざまな講話が行われました。

また講話後には、実際に台座灸を使ってツボの探し方などを学ぶお灸体験が実施され、参加者にとって貴重な体験型イベントとなりました。



「食品ロス」問題の現状と削減に向けた講演が開かれる



一般社団法人北海道消費者協会の非常勤講師である奥谷直子さんを講師として招き、10月28日、「食品ロス削減推進講演会」が総合福祉センター大ホールで開催されました。

「食品ロス」とは、日本で年間600万トン以上も捨てられている「まだ食べられるのに廃棄される食品」の

ことで、世界規模で改善に向けて取り組まれている問題。

奥谷さんは家庭内における食品ロス削減のポイントとして、「必要な量だけ購入」して「食べきる」ことが大切だと説明し、会場に詰めかけた多くの聴衆を前に、食品ロス削減の重要性について講演されました。

道の駅スタープラザ芦別に「子育て応援自動販売機」を設置

10月31日、道の駅スタープラザ芦別の屋外トイレ内に紙おむつ・液体ミルク・おしり拭きを24時間販売する「子育て応援自動販売機」が設置され、北海道コカ・コーラボトリング株式会社と北海道開発局札幌開発建設部、芦別市の3者による協定締結式及び除幕式が行われました。

これは、北海道開発局が道内の道

の駅で進める子育て支援の一環で、今回の芦別市への「子育て応援自動販売機」導入は道内としては3例目、空知管内では初めてとなります。

締結式のあいさつで、北海道開発局札幌開発建設部の鈴木亘部長は、「子育て中の家族が安心して外出できるように環境をつくっていきたい」と話していました。

